

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりしよう

年 組 番 名前

一 次の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書かぎでていねいに書きなさい。

① 今までにないドクソウ的な考えだ。

② 道はばをカクチョウする。

③ 生活をカイゼンする。

④ 必要なシヨチをとる。

⑤ 「おしらせ」をカイランする。

⑥ ゴミを取りノゾく。

⑦ 無駄むだをハブく。

⑧ ウタガいを晴らす。

⑨ 早起きにツトめる。

⑩ フルって応募する。

◆間違えた漢字をもう一度練習しましょう。

って	める	い	く	く					
----	----	---	---	---	--	--	--	--	--

◆間違えた漢字をもう一度練習しましょう。

って	める	い	く	く					
----	----	---	---	---	--	--	--	--	--

二 次の——線部の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

① 小豆あずきを甘くたく。

② 明日の仕事に差し支える。

③ 夜には吹雪ふぶきになりそうだ。

④ すばらしい景色けいしょくをながめる。

⑤ 芝生しばせいに腰を下ろす。

◆間違えた読みをもう一度練習しましょう。

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりしよう

年 組 番 名前

一 次の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書かいで書いてねいに書きなさい。

① 今までにないドクソウドクソウ的な考えだ。

② 道はばをカクチョウカクチョウする。

③ 生活をカイゼンカイゼンする。

④ 必要なシヨチシヨチをとる。

⑤ 「おしらせ」をカイランカイランする。

⑥ ゴミを取りノゾクノゾク。

⑦ 無駄むだをハブクハブク。

⑧ ウタガウタガいを晴らす。

⑨ 早起きにツトツトめる。

⑩ フルフルって応募する。

奮	努	疑	省	除	回覧	処置	改善	拡張	独創
って	める	う	く	く					

◆解説◆
同じ漢字が使われている語句を調べるなど、漢字がもつ意味も合わせて覚えておきましょう。

って	める	う	く	く					
----	----	---	---	---	--	--	--	--	--

◆間違えた漢字をもう一度練習しましょう。

二 次の——線部の正しい読みをひらがなで書いてねいに書きなさい。

① 小豆あずきを甘くたく。

② 明日の仕事に差し支あえる。

③ 夜には吹雪ふぶきになりそうだ。

④ すばらしい景色けしきをながめる。

⑤ 芝生しばふに腰を下ろす。

あずき	さしつかえる	ふぶき	けしき	しばふ
-----	--------	-----	-----	-----

◆間違えた読みをもう一度練習しましょう。

◆解説◆
二字以上の漢字を訓読みする読み方を「熟字訓」と言います。

--	--	--	--	--

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文脈に即して漢字を正しく書こう

年 組 番 名 前

次の——線部の平仮名を漢字に直して、楷書^{かいしょ}でていねいに書きましよう。

問 題	解 答
① 観客から、勝利の <u>かんせい</u> があがる。	
② 七分 <u>さき</u> の花	
③ 言葉 <u>づか</u> いがよい。	
④ 水面に <u>うか</u> び上がる。	
⑤ 理論を <u>じ</u> っせんし、報告する。	
⑥ 友達を <u>し</u> ょうかいたします。	
⑦ とうた <u>く</u> のある紙	
⑧ <u>じ</u> ょ <u>じ</u> ょに成績があがる。	
⑨ 山を <u>こ</u> える。	
⑩ <u>せん</u> ば <u>つ</u> 選手に選ばれる。	
⑪ <u>し</u> し <u>つ</u> の多い食品	
⑫ <u>こ</u> か <u>げ</u> で休む	
⑬ 電車の乗りか <u>え</u> 案内。	
⑭ <u>かん</u> じ <u>ゃ</u> の容体が良くなる。	
⑮ 木材をか <u>か</u> える。	
⑯ イラストが新聞に <u>の</u> る。	
⑰ ち <u>ょう</u> ざ <u>い</u> 薬局へ行く。	
⑱ 支援を差 <u>し</u> の <u>べ</u> る	
⑲ この映画は、 <u>ふ</u> き <u>ゅう</u> の名作だ。	
⑳ 名作映画を <u>かん</u> し <u>ょう</u> する。	

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文脈に即して漢字を正

年 組 番 名前

教科書の最後のページの「一年生で学習した漢字」や「新しく習った漢字」などを見て、正しい漢字を確認しましょう。

次の——線部の平仮名を漢字に直して、楷書かいしょでていねいに書きましょう。

問 題	解 答
① 観客から、勝利の <small>かんせい</small> があがる。	歎声 「勝利のことあることから、喜びの意味がある「歎声」が適切な漢字にあたります。
② 七分 <small>しちぶん</small> さきの花	咲
③ 言葉 <small>ことば</small> づかいがよい。	遣
④ 水面に <small>うみ</small> かび上がる。	浮
⑤ 理論を <small>りろん</small> じっせんし、報告する。	実践 理論を行って確かめる場合は、実行するという意味がある「践」を使います。
⑥ 友達を <small>ともだち</small> しょうかいします。	紹介
⑦ こうたぐのある紙	光沢
⑧ じよじよに成績があがる。	徐々
⑨ 山を <small>やま</small> こえる。	越 「越」は、時間や点、場所を通り過ぎることを表す「こえる」に使います。「超」は、数量・基準・限度を「こえる」ことを表す場合に使います。
⑩ せんばつ選手に選ばれる。	選抜 食品に含まれる油分を意味することを表す時は、「脂質」を使います。「資質」は生まれ持った性質を表す場合に使います。
⑪ ししつ <small>しじつ</small> の多い食品	脂質
⑫ こかげで休む	木陰
⑬ 電車の乗りかえ案内。	換
⑭ かんじ <small>かんじ</small> の容体が良くなる。	患者 あるものや他のものを、とりかえる意味を表します。「変える」「替える」などの違いに注意しましょう。
⑮ 木材をかかえる。	抱
⑯ イラストが新聞に <small>いんぶん</small> のる。	載 新聞や雑誌に書かれる時には、「載」を使います。
⑰ ちやうざい薬局へ行く。	調剤
⑱ 支援を差し出 <small>さしだ</small> す	伸 手を差し出す意味がある「伸」を使います。
⑲ この映画は、ふきゅうの名作だ。	不朽
⑳ 名作映画をかんしょうする。	鑑賞 映画や美術作品などの芸術作品を味わう意味を表す時は「鑑賞」と書きます。「観賞」「感傷」「干渉」などこの意味の違いを確かめておきましょう。

解答例

〈中学一年生〉

書くこと

文脈から言葉の意味をとらえ、ひらがなを漢字に直し、読みやすい作文にしよう

組 席名前

解答例① (小学校六年生までに学習した漢字を適切に使った作文)

中学校で訓読み「わたし」を学習します

私は、夏休みに町内会の行事で近くの山へ山登りに行きました。登っていくと中に、大きな木がありました。空に届きそうな高さのけから、水が下まで一気に流れ落ちて、たきつぼでは、大きく水しぶきが飛んでいます。たきの周りは飛び散った水しぶきで、まるできりがかかっているようでした。それを見て友だちが、「わあ。見て！見て！すごい、すごい。」と感動していました。

小学校では音読み「テイ」のみを学習します

山頂まであと一歩というところで、がけに見えるほど急な坂がありました。私は「すごい坂。歩けるかな。」と心配になりましたが、大人の人たちははげまされて、がんばって歩きました。すべりそうになりながらも、なんとか山頂に着くと、町内会の会長さんが、「林さん、がんばったね。」とほめてくれました。

【ここをチェック】

・小学校六年生までに習った漢字が書けましたか。

・線部はひらがなで書きましたか。

☆ 「登って」と「いく」、「落ちて」と「いて」、「飛んで」と「いて」、「かかって」と「いるようでした」、「感動して」と「いました」は、それぞれ補助の関係なので、傍線部は普通ひらがなで書きます。

☆ 「い」は、ここでは普通ひらがなで書きます。

☆ 「ところ」は形式名詞なので、普通ひらがなで書きます。

※形式名詞↓「光村図書」は第二学年